



平成 30 年 1 月 5 日

報道機関 各位

東北大学災害科学国際研究所

## 平成 29 年度東日本大震災アーカイブシンポジウム

－被災県が実施する震災アーカイブの意義－

### 開催のお知らせ

国立国会図書館と東北大学災害科学国際研究所は、平成 30 年 1 月 11 日（木）に「東日本大震災アーカイブシンポジウム」を東北大学にて開催いたします。

東日本大震災の発生直後から、様々な団体が震災アーカイブに取り組み、現在までに数十の震災アーカイブが構築されました。特に地域のアーカイブの構築は、県内の記録の収集やアーカイブ連携を促進し、東日本大震災の記録の網羅的な集約を可能にしました。そのことにより、震災アーカイブの連携にともなう知見も得られてきました。アーカイブとは「未来へ伝えるべき保存記録」を意味します。震災アーカイブは将来起こる災害に対する対策に重要な役割を果たします。

本シンポジウムでは、震災アーカイブを取り巻く国際動向として、「世界防災フォーラム」の概要を紹介するとともに、東日本大震災と熊本地震の被災県の震災アーカイブ担当者による事例報告や、「被災県が実施する震災アーカイブの意義」と題して、各県のアーカイブ構築と県内のアーカイブとの連携等について課題解決に向けた議論を行います。つきましては、本シンポジウムを幅広くご周知いただくとともに、当日はぜひご取材の上、紙面・番組等でご紹介していただけますと幸いです。なお、ご取材を希望される場合は、下記問い合わせ先までご一報ください。イベントの詳細については次頁をご参照ください。

#### ○日時及び会場

日時：平成 30 年 1 月 11 日（木）13：00～16：30（開場 12:30～）

会場：東北大学災害科学国際研究所棟 1 階多目的ホール（宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1）

#### ○参加及び参加申込み

- (1) 定員：200 名（先着順。定員に達した時点で申込受付を終了します。）
- (2) 参加費：無料
- (3) 申込み：下記 URL のシンポジウム案内にある申込みフォームからお申込みください。

<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp>（みちのく震録伝）

【問い合わせ先】

東北大学災害科学国際研究所情報管理・社会連携部門 災害-アーカイブ研究分野

担当：柴山・小野

電話：022-752-2099

平成 29 年度東日本大震災アーカイブシンポジウム  
－被災県が実施する震災アーカイブの意義－

日時：平成 30 年 1 月 11 日（木） 13：00～16：30 まで

会場：東北大学災害科学国際研究所 多目的ホール

主催：東北大学災害科学国際研究所、国立国会図書館

13:00 オープニング

開会の挨拶と趣旨説明 東北大学災害科学国際研究所所長 今村 文彦

13:10 震災アーカイブを取り巻く国際動向

「世界防災フォーラム&ぼうさいこくたいの報告」

東北大学災害科学国際研究所助教 ボレー・セバスチャン

13:30 被災県が取り組む震災アーカイブ～復興にむけて目指すもの～

「いわて震災津波アーカイブ～希望～」について

岩手県復興局復興推進課推進協働担当課長 酒井 淳氏

「熊本地震への対応とデジタルアーカイブ」

熊本県知事公室危機管理防災課熊本地震検証室主幹 林田 昭広氏

「茨城県における東日本大震災の記録資料の収集と公開」

茨城県生活環境部防災・危機管理局防災・危機管理課副参事 中原 健次氏

「福島県における震災関連資料の収集について」

福島県文化スポーツ局生涯学習課主任社会教育主事 半谷 成満氏

14:30 休憩

14:40 進化する震災アーカイブ～現状と課題～

「在仙テレビ局の震災アーカイブ、その意義と活用法」

宮城テレビ放送アナウンサー 浮ヶ谷 美穂氏

「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）の課題と取組」

国立国会図書館電子情報部主任司書 伊東 敦子

「震災アーカイブを発展させるために研究機関がすべきこと」

東北大学災害科学国際研究所准教授 柴山 明寛

15:25 休憩

15:35 パネルディスカッション ～被災県が実施する震災アーカイブの意義～

「東日本大震災アーカイブ宮城」の運用について

宮城県図書館資料奉仕部震災文庫整備チーム主査 太田 朋子氏

パネルディスカッション

上記の登壇者が参加

16:25 クロージング

閉会の挨拶 国立国会図書館電子情報部主任司書 伊東 敦子